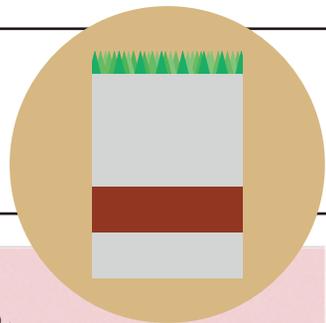


F 有機物集積深層型



特徴

- ・ 土壌断面は複数の色の違う層で出来ている。
- ・ 色の違う層は地表から8cmより深い深度にある。

解説

このタイプは、過去に更新作業が不足していた時期があったため、深い位置に有機物の集積層ができてしまったケースです。

土壌過湿、排水不良、根の伸長阻害に伴う乾燥害を引き起こします。また、雑草・藻類の侵入、病害発生に繋がる恐れがあります。

左写真のような場合、深さ5cmを境に水や空気の移動、根の伸長が遮断されます。その結果、芝の根は主に深さ5cmまでの部位での生育を強いられ乾燥と過湿の両ストレスを受けることになります。

対策

深くまで届くエアレーション機械を使用し、深い位置にある有機物層を抜き取りましょう。エアレーションの穴には砂を充填し、排水・通気孔（水や空気の通り道）を確保することが重要です。それによって芝の根も伸びやすくなります。とくに、根の生育が旺盛な梅雨前までの時期には、コアリングのほか、シャッタリング効果のある深層エアレーションを行い、夏に向けて長く豊富な根を作っておきましょう。有効な作業は、ドリルエアレーション、ディープエアレーション、ドライジェクトなどです。